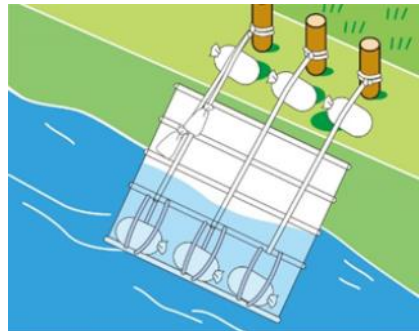


○水防工法紹介

シート張工（浸水，漏水対策工）

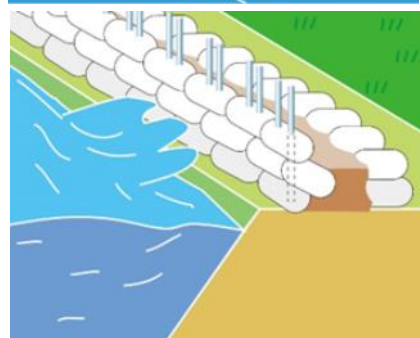
水の流れて、堤防が削り取られるのを防ぎ、堤防への水の浸透を防ぎます。防水シートの下部に土のうの重しをつけて使用します。



積土のう工（越水対策工法）

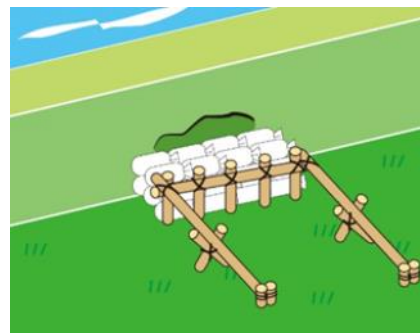
堤防を越えて水があふれるのを防ぐ工法で、堤防上端に土のうを数段積み上げ、堤防を人工的に高くします。

水防工法の基本となる工法です。



杭打積土のう工（決壊崩壊対策工法）

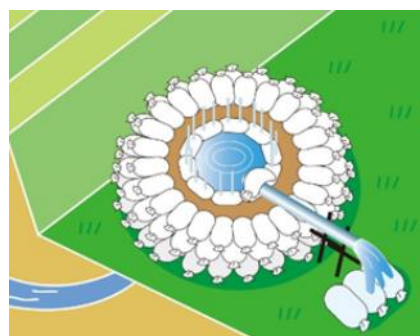
堤防の住宅側の斜面が崩れたり、崩れそうな場合に、崩壊箇所の下部に、木杭を数本等間隔に打ち込み、土のうを固定し、斜面が崩れるのを防ぎます。



釜段工（漏水対策工法）

堤防の近くの地面から漏水した水が噴き出している場合に、漏水の噴出口を中心に土のうを積み上げて水を貯え、その水圧によって噴出をおさえます。

堤防から少し離れた場所での漏水に用います。



月の輪工（漏水対策工法）

堤防の斜面などに漏水した水が噴き出している場合に、土のうを半月型に積んでいき、その中に水をためることで、水圧で漏水口が広がるのを防ぎます。

堤防に近い場所での漏水に用います。

